



2023-24 年度  
国際ロータリー会長  
ゴードン R. マッキナリー

# Weekly Report Niigata



2023~24 年度  
新潟ロータリークラブ会長

内山 博之

新潟 RC 3月第 2 例会 (2024.3.12) (Zoom 例会併催) No.3498

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 内山 博之会長挨拶

皆さん、こんにちは。本日は、今年度初めに会長方針の 2 番目にあげましたメンタルヘルスケアについて少しお話させていただきます。うつ病、嗜癖、依存症、総合失調症、摂食障害や不安障害といった代表的な精神疾患は、10 代から 25、26 歳まで急速に発症し、その数は 7 割を占めます。厚生労働省による総患者数は令和 2 年では、全国の精神科外来に 614 万人が通院し、入院患者数は 28 万人で、その数は右肩上がりとなっています。WHO が、数年前に、うつ病が世界で 3 億人を超えている。非常に深刻な事態であると警鐘を鳴らしました。特に、高所得国で約半数が適切な治療を受けていないと問題視しています。その背景にあるのは、精神疾患に対する偏見や差別といった「スティグマ」であり、これをなくすことが第一で、また、うつ病は自殺の大きな要因であると指摘しています。日本においては、以前より自殺が身近にある国でした。バブルがはじけた平成 10 年からの 14 年間は、総自殺者数が毎年 3 万人を超えてきておりまして、官民上げた努力がなされて、平成の終わりには 2 万人台まで減りましたが、未だ 1 年間で 2 万人を超える尊い命が亡くなっています。しかし、コロナ禍が 3 年間続く中で、自殺者は右肩上がりに反転してきていまして、令和 4 年では、21,881 人となっております。問題視されるのは、20 代、30 代の女性の自殺の増加です。若い女性の精神疾患の増加も指摘されており、その背景にはコロナ禍でのステイホーム、そして、家庭の中でまだまだ性別役割の大きな日本において女性のメンタルヘルスに大きな課題と深刻さを残したとしています。子供達にも大きな影響がでておりまして、児童・生徒の自殺者がコロナ禍以降 3 年で 3 割増え、年間 500 人を超え過去最多となりました。日本財団が 4 年に一度行っているメンタルヘルス調査によりますと、2016 年時点で全国 20 歳以上の男女 4 人に 1 人が、過去 1 年以内に本気で自殺したいと考えたとあります。年代別では、20 代、30 代に多く、若者の自殺願望が多いことが推測でき、将来が心配される事態であります。G7 諸国

の 15~34 歳の死因を見ますと自殺は 2 位ですが、日本と韓国は若者に限ると自殺が 1 位となっています。自殺の手前には自傷行為があります。10 代の子供達の 1 割に、リストカットの経験があり、その理由として不快な感情の軽減のためと答えた子供が約 6 割いたということでした。最近では、せき止め、鎮痛剤、風邪薬などの市販薬の乱用による自傷行為が増えているそうです。これらの精神疾患の対策として、やはり早期の治療ということになります。それによって、病気も軽く済み回復も早く、家族や社会からの支援も維持されるわけです。治療が遅れることで、うつや自殺のリスクが増え、家庭や社会からの支援が遠ざかり、様々な問題が起ってきます。現在、厚生労働省は、地域包括ケアシステムで認知症の方を支援するモデルを作っていますが、それを精神疾患にも当てはめて、地域の中で早期の発見・治療を行うこと、そのための学校や地域などの連携の重要性が強調されています。最後に、2020 年のユニセフによるレポートカード 16 を紹介します。OECD 加盟 38 ケ国の子供の幸福度ランキングを示し、各国の子供達の精神的幸福度、身体的健康、スキルなどの課題を抽出したものです。日本の生活満足度が高い 15 歳の割合は、残念ながら非常に低く、15~19 歳の自殺率も高いため、精神的健康度は 37 位です。また、社会的スキルについて、あなたは友達をすぐに作れますかに対する答えでも日本の子供達はかなり順位が低くなっています。身体の健康度は守られているのに生活満足度が低い、自分についての自信が持ちきれないことは国内的にも大きな課題です。自己肯定感という言葉がありますが、子供達は心のありよう、自分の来し方や行く末について、家庭や学校あるいは地域の方々に評価・承認され、将来への希望を繋ぐような言葉をかけてもらい自信を持つことがとても大事な世代です。来月になりますと、また新入社員が入ってまいります。若い社員としっかり向き合い寄り添って、彼らの夢や希望がかなえられる様にしっかりサポートしていければと感じた次第であります。日本の将来を担う人財を育てること、大切な社会貢献であります。以上、本日の会長挨拶とさせていただきます。有難うございました。

(3) ゲストの紹介

・(株)タイミー北信越支社長 川本健太氏

(4) ビジターの紹介

・大谷昭子君 (新潟南 RC)

(5) ニコニコボックス紹介 (加藤琢巳委員)

・高橋 秀樹君 本日のピアノ演奏は今年のアカデミー賞受賞にちなむ選曲になっていて楽しく聴きましたのでニコニコします。

・川瀬 直也君 NHK から年度末特別番組、放送のお知らせです。今週金曜日 (3月15日)、夜7時30分から、新潟県出身のハリウッド俳優・渡辺謙さんがインタビュアーを務める番組「新潟の挑戦者たち」を2本続けて放送します。また、番組のタイトルは、加茂市在住の書家、泉田佑子氏の制作です。

日本では人口減少や産業の停滞に悩み、新たな展開を模索する地方が少なくありませんが、新潟も同様の課題を抱えています。そうした中、渡辺謙さんが地域に足を運び、挑戦を続ける若手経営者たちへのインタビューから新潟の未来に向けたヒントを探る番組を制作しましたので、是非ご覧下さい。

・本間 利夫君 お誕生日プレゼントありがとうございました。

(6) 徳永 昭輝君へ米山功労者第28回感謝状贈呈

(7) 卓話「スポットワークがもたらす働き方の変化」

(株)タイミー 執行役員

スポットワーク研究所所長 石橋 孝宜氏



(8) 3月12日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
85	81	60	74.07

Zoom 参加 10名

次週3月19日の例会プログラム

卓話「ローターアクト 地区とクラブの運営について」  
高橋 優太 新潟ローターアクトクラブ会長

新潟ロータークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>